

臨床研究「当院における小趾列多趾症に対する手術療法の検討」について

筑波大学附属病院形成外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

小足趾列多趾症は足の先天奇形の中で最も頻度の高い疾患である。しかし足趾形態は症例によって様々なうえ、客観的な術後評価基準がないため手術方針の決定が困難である。

今回の研究の目的は当科で治療した小趾列多趾症をもとに、術後計測を基に検討を行い、系統的な手術方針を検討する。

② 研究対象者

1999年1月から2019年9月までに当院で手術を受けた中央列多趾症の患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

当院において治療が行われた小趾列多趾症患者の術前、術後記録を後ろ向きに調査し、系統的な手術方針について検討する。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録、レントゲン写真、臨床写真

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 形成外科 関堂充

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：形成外科 大島純弥

電話 029-853-3933(形成外科外来、平日8時30分～17時15分)

029-853-3525(休日、夜間救急受付)